

1.きたまちの課題とその解決策

<課題>

地域住民のきたまちの歴史や景観に対する関心が希薄になりつつあり、実際に歴史と価値ある町家が取り壊されている
→きたまちにもっと愛着を持ってもらうための仕掛けを！

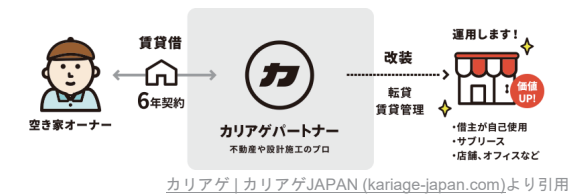
<解決策>

きたまちに関心を持つ人を増やすため、
きたまちブランドの強化を行う

➡住まい手不在の空き家を活用し、多世代が交流できる、
きたまちの核となる拠点を新たに設ける

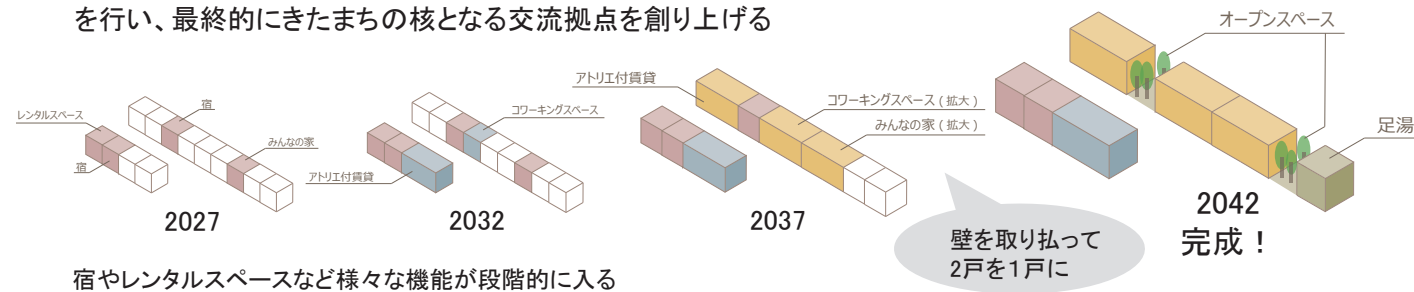
3.空家の運営について

空き家のオーナーと契約を結び、空き家を改修して運用する事業をおこなう、カリアゲジャパンという企業実在する。
本提案ではこの会社をモデルとして、空き家を改修して運営することを任されたとしたら、どのような計画を立てて進めていきたいか？という視点で提案を行う。



4.提案

住まい手のいなくなった空き住戸から段階的にリノベーションを行い、最終的にきたまちの核となる交流拠点を創り上げる

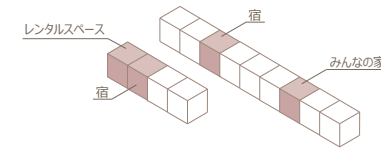
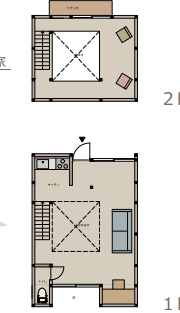


2.対象地

奈良女子大学の北側に位置する、3軒(計13戸)の木造2階建ての長屋

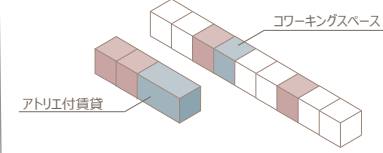


2027

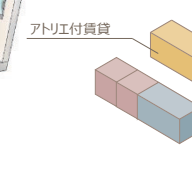
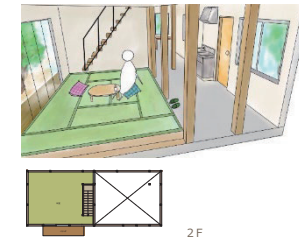
みんなの家2027
平面図

長屋や近隣の住民が
憩う、みんなの家

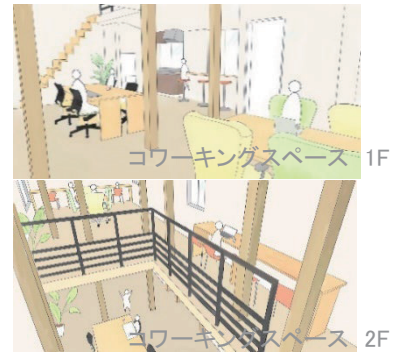
2032

アトリエ付き賃貸2032
平面図

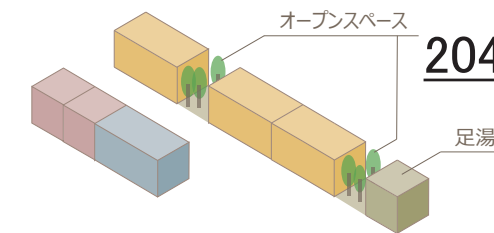
2037

アトリエ付き賃貸
イメージ(上)
平面図(左)

利用者層も近隣住民から
きたまち全体へと拡大

みんなの家 &
コワーキングスペース 平面図

2042

みんなの家 & 足湯
平面図